

Hamamas



Jan/ 2010

Now mi stap long Kokopo. Long Kokopo,
I gat planti nature na gutpela si na
naispela kalsa. Olsem na mi laikim tokim
yupela long Papua New Guinea. Olsem na mi
mekim sampela toksave long Hamamas. Sapos
yupela i gat laik long Papua New Guinea, bai
mi Hamamas. Tenkyu tru.

こんにちは。今回は私の任地ココポについてお伝えしたいと思います。ココポは人口約6万人程の町です。1994年にラバウルで起きた火山の大噴火により、多くの人々がラバウルからココポへと移住してきました。1994年の火山の噴火以降、人々の移住に伴い、ビジネスも移転しています。中でも中国系の店が多くあります。町には郵便局、銀行、スーパー、マーケット、カイバーなどがあります。人々の交通手段は、歩いたり、車を持っている人は車を使用します。多くの方はPMVと呼ばれる乗り合いバスを使用しています。町近辺では水道、ガス、電気はあるものの、町から離れた村では、電気、水、ガスが無い原始的な生活をしている人も多いです。また村ではシェルマニーと呼ばれる貝で作られたお金を使って、米や野菜などを買ったりする文化もあります。

空港

トクア空港です。ココポの町から車で20分ほどの所にあります。トクア空港は日本の政府開発援助により作られた空港です。トクア空港はラバウルの火山の影響を受けるため火山灰がやってくる年末付近は火山灰により空港が閉鎖される事もあります。火山の影響以外にも飛行機が遅れる事も多く、空港で6時間待った事もありました。さすがに空港で6時間待つのはしんどかったです。日本みたいに時間通りに飛行機が飛ぶことはあまりないと思います。空港で飛行機を待っていたとき時間があつたため、空港の隣にある管制塔に行ってきました。管制塔で働くおじさんと話していて知ったのですが、トクア空港の土地は以前ココナッツのプランテーションだったそうです。空港を作るため、プランテーションを整備したそうです。そのため滑走路の脇はココナッツの木がたくさんあります。また空港からココポまで行く道もココナッツの木がとても多いです。



トクア空港



管制塔



管制塔から撮った一枚



空港内



空港からココボへの道



ココボの町

栈橋

私の働く病院の前に栈橋があります。栈橋では毎日、子供から大人まで多くの人が釣りをしています。早い人で朝2時から釣っている人もおり、日が昇る朝5時頃から釣りに来ている人が多いです。栈橋付近で釣れる魚の多くは小さいアジです。時間帯によっては大きい魚も現れるため、大物を狙うときは、小さいアジを餌にして釣りをしています。釣った魚は3匹1キナで売っています。釣った魚は食材としても使っているようであるが、商売が目的であることが多いです。栈橋に魚を買いにくる人も多くみられます。釣りの仕方は、山で切ってきた竹を竿にして糸、針、重りをつけて水中に糸を垂らし、水中にいる魚の群れが自分の針付近にきたら竿をひくという、引っかけの方法で現地人は行っています。引っかける方法で行うため、餌は使っていません。お金がかからずに行ける釣りです。現地人は軽々とたくさん魚を釣っていたので、僕にもできるかなと思い、釣り竿を作ってもらいやってみました。しかし、現地人のようにうまくいかず、全然釣れませんでした。全然釣れない僕を見かねた現地人がよく僕に釣った魚をくれます。現地人はとてもやさしいです。釣りを少しずつやっていくことで数匹は釣れるようになりました。また栈橋には一日多くの人がいるため、栈橋上に小さなマーケット(ドーナッツやビードルナッツ、アイスボックスなどを売っている)があります。栈橋も釣り人に対して商売をしているのには驚くと同時に賢いなと思いました。これからも釣りには行きたいなと思います。



栈橋



竿を作ってくれたおじさん



魚の群れ



釣りをしている現地人



栈橋のマーケット



釣った魚

マーケット

ココポの中で一番大きいマーケットです。マーケットはスーパーとは違い、屋外で一般の人が場所代を払って、野菜、果物、芋類、衣服など売っている所です。月曜から土曜日の朝から夕方までやっています。日曜はお休みです。こちらでは現金を稼ぐための働く場所が限られているため、マーケットでの商売も大きな収入のひとつにあたると思います。僕は毎週、野菜や果物等をよく買いに行きます。日本では食べることもなかったマンゴー、パパイア、パッションフルーツなどの果物をよく買って食べています。特にラバウル周囲でとれるマンゴーはとても甘くておいしいです。またこちらは日差しが強いため、傘を差しながら働いている人もいます。こちらで傘は日差し、雨、火山灰から身を守るために使用されているそうです。



マーケットの入り口



マーケット外見



傘を差して働いている人達



果物を売る現地人



パパイア



ラバウルマンゴー

郵便局、銀行

郵便局は日本と異なり配達制度がありません。そのため荷物や手紙は、郵便局にある私書箱 (P.O.Box) に取りに行かなければなりません。また日本に手紙を送る場合には6キナ (約240円) かかり、1~2週間ほどで日本に届きます。

ココポには3つの銀行があります。こちらの給料は2週間に1回 (月に2回) の振り込みになっており、給料日にはとても混んでいます。また給料日だからと行って、仕事を早く切り上げて銀行に行く人までいます。日本では考えられないのですがこちらではよくある光景です。



郵便局



ATMを待っている人達

カイバー

カイバーとはチキン、ソーセージ、チップスなどを売っているファーストフードのお店です。ココポにも様々なカイバーがあり、現地の人達もよくカイバーを利用しています。僕もよくカイバーでライスボール (日本でいうおにぎり) を買ってお昼に食べます。日本のおにぎりとは違い、ご飯の周りに小麦粉をつけ、油であげたものです。少し油っこいですが、2つ食べるとおなかいっぱいになります。ライスボールは一つ1キナ程度です。



カイバー入り口



カイバー店内



メニュー表



売られている品



ライスボール

(おわりに)

今回は簡単ではありますが、ココポの紹介をさせていただきました。またこれからも少しずつ様々な事をお伝えできたらと思います。よろしくお願いします。

(31/Jan/2010)